



古賀市立千鳥小学校

古賀市立千鳥  
学童保育所

2 公園

きりんさん遊園

千鳥ヶ池

多目的広場

5

千鳥ヶ池公園野球場

千鳥ヶ池公園

千鳥ヶ池公園  
テニスコート

千鳥児童センター

古賀市社会福祉  
センター千鳥苑

サトーシロアリ技研



千鳥ヶ池公園見晴らしの丘樹木間伐整備  
2022年10月8日～12月16日  
契約金額 663万3千円



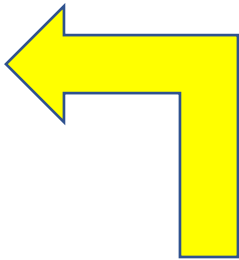
千鳥ヶ池公園  
伐採前

千鳥ヶ池公園  
伐採後

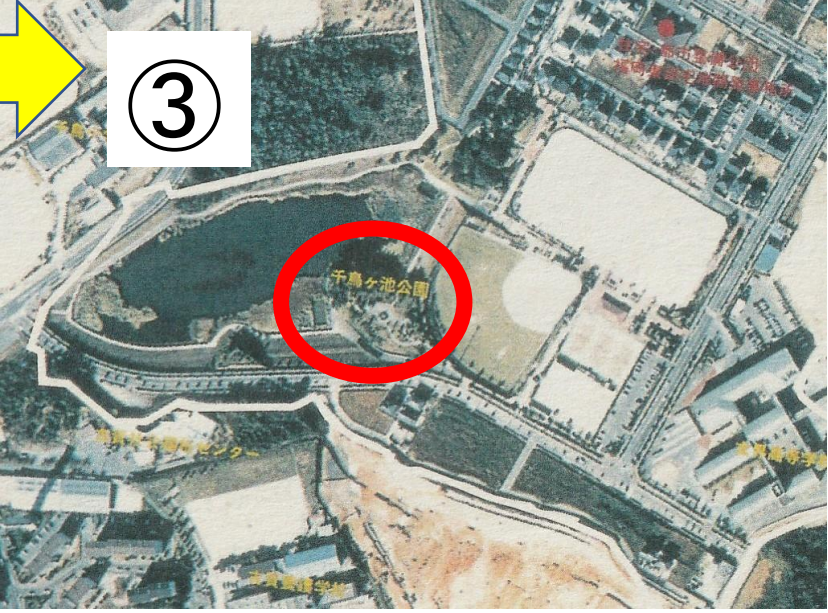




2022年  
10月以前



「千鳥パークタウン  
まちづくりの記録」  
住宅・都市整備公団  
九州支社



1983年  
昭和58年4月  
40年前

1988年  
昭和63年3月  
35年前

1994年  
平成6年11月  
29年前

2000年6月  
千鳥が池の環境復元・保護を  
求める請願採択

2000年8月～10月  
ヒシ取り出し、ヨシの刈り取り

2001年3月  
千鳥が池関連予算1080万円

2001年3月～  
桜の記念植樹  
千鳥小の自然観察会

## メダカ生息 憩いの水辺



古賀市民の憩いの場として親しまれている千鳥ヶ池

# 「千鳥ヶ池」を守れ！

行政へドロ除去計画

市民 保護組織結成へ

古賀市

2001.4.13  
西日本

「千鳥ヶ池」は水面積一夏にも撤去。ヨシの一部約三万五千平方メートル。かつも刈り取るほか、排水口で海につながっていた浅付近にたまったヘドロをいり江が、自然池になったとみられている。絶滅が危ぶまれているメダカ、タヌキモ、ツクシオオガヤツリが生息。大蛇伝説など古い伝承が残っている場所でもある。

ところが、周辺で宅地開発が進むに伴って水質が富栄養化し、ヨシやヒシが大量に発生。池底のヘドロ化と陸地化が進み、将来は池の消滅も指摘されている。また自転車などの不法投棄も相次いでいる。このため古賀市は水面に広がるヒシを

古賀市民の憩いの水辺空間として親しまれ、希少動植物も生息している「千鳥ヶ池」（同市舞の里）の本格的な環境保全事業に市が乗り出す。本年度予算にヘドロ除去などの新規事業として一千八十万円を計上。地元では、住民の保護組織結成の準備も進んでおり、行政、住民それぞれに池を守る動きが活発化してきた。

2000年9月17日 読売新聞報道  
2001年4月13日 西日本新聞



市職員がヒシの取りだし作業を実施

2000年8月頃・当時の都市計画課職員



引き上げられたヒシの根

請願採択を受けて職員自らがヒシ取り作業  
これを契機に予算化につながる

# 「都心の森1万本プロジェクト」始動！

～緑豊かなまちへ～

## ■ コンセプト

天神ビッグバンや博多コネクティッドにより、まちが大きく生まれ変わっていく中で、緑が持つ魅力により、まちに「彩り」を加え、憩いや安らぎが感じられる空間を創出するため、市民や企業と共働して、新たに樹木を植え、今ある緑をより美しくするとともに、民有地における緑化誘導により、良好な都市景観の形成や都市環境の改善を図り、緑豊かなまちづくりを推進します。

## ■ ロゴ



街並みの線画に融合するように描かれたカラフルな大樹は、都市と森がシームレスに繋がる「共生」を表現しています。大樹の4色のモザイクは福岡の四季を表すと共に植樹活動による「街の彩り」や「多様性」「Well-beingな環境」が育つ未来を表現しています。

## ■ すぐに取り組むこと（令和5年度の取組みは後日発表）

### ① 新たな樹木の植栽

**第1弾** 柳田神社前駅（3月開業予定）近くの博多川沿いの歩道空間に植樹します。

歩道への植樹イメージ



### ② 今ある緑をより美しく

**第1弾** 渡辺通り、城南線の街路樹を美しい樹形に整えます。

### ③ 民有地における緑化誘導

天神BBB（ビッグバンボーナス）等のアップデートを行い、民間ビルの建替え時に「みどり」等の誘導をさらに強化します。

大名の杜（福岡大名ガーデンシティ）



【現行】

50

- ・高質、高付加価値なビル
- ・テナント移転フロア提供

UPDATE

【アップデート後】

50

- ・建物デザイン（低層部、連続性）
- ・都心の森1万本プロジェクト
- ・市民が触れられるアート
- ・ユニバーサルデザイン（ベンチ、多言語対応等）

※博多コネクティッドボーナスも同様の取扱いとします。

## ■ 問い合わせ先

### 【都心の森1万本プロジェクト】

住宅都市局公園部政策課  
担当：中村、田村  
TEL：092-711-4446（内2960）

### 【天神BBBアップデート】

住宅都市局都心創生部都心創生課  
担当：高橋、小川  
TEL：092-711-4425（内2890）

# 福岡市 都心の森1万本 プロジェクト始動

## 「緑豊かなまちへ」

（2月7日発表）

- ① 新たな樹木の植栽
- ② 今ある緑をより美しく
- ③ 民有地における緑化誘導



緑地・公園案 A)通り抜け車道を整備しない案

宮地岳線跡地 花見東2区 創生案 (仮称 H<sub>2</sub>O通り: Hanami Higashi Open)

- ① 遊歩道・通学路: ベビーカー、シルバーカー、車椅子等がスムーズに通れる程度 水を通す素材を使い、樹木の間を縫うように配置
- ② 樹木: 高木・低木・常緑・落葉織り交ぜた多様性のある植生の緑地
- ③ 災害・非常時の横断ポイント(複数): 集合住宅の敷地共用部・駐車場を、緊急時のみ通らせてもらう境界に破砕りボード設置
- ④ 常用の横断ポイント(複数): 既存道路、水路等を改修して活用



宮地岳線跡地  
花見東2区  
ワークショップ  
緑地・公園案イメージ

**樹木帯**  
高木、低木、常緑、落葉織り交ぜた  
多様性のある緑地  
森林保全としての動植物の多様性  
地面に深く根を張り吸水効果を持たせる

# 都市緑地法・第4条

2007年  
平成19年

◎◎市・緑の基本計画

2014年  
平成26年

改訂

地球温暖化  
東日本大震災  
市街地開発

2022年  
令和2年

改訂

緑・オープンスペース  
整備保全  
都市緑地法改正

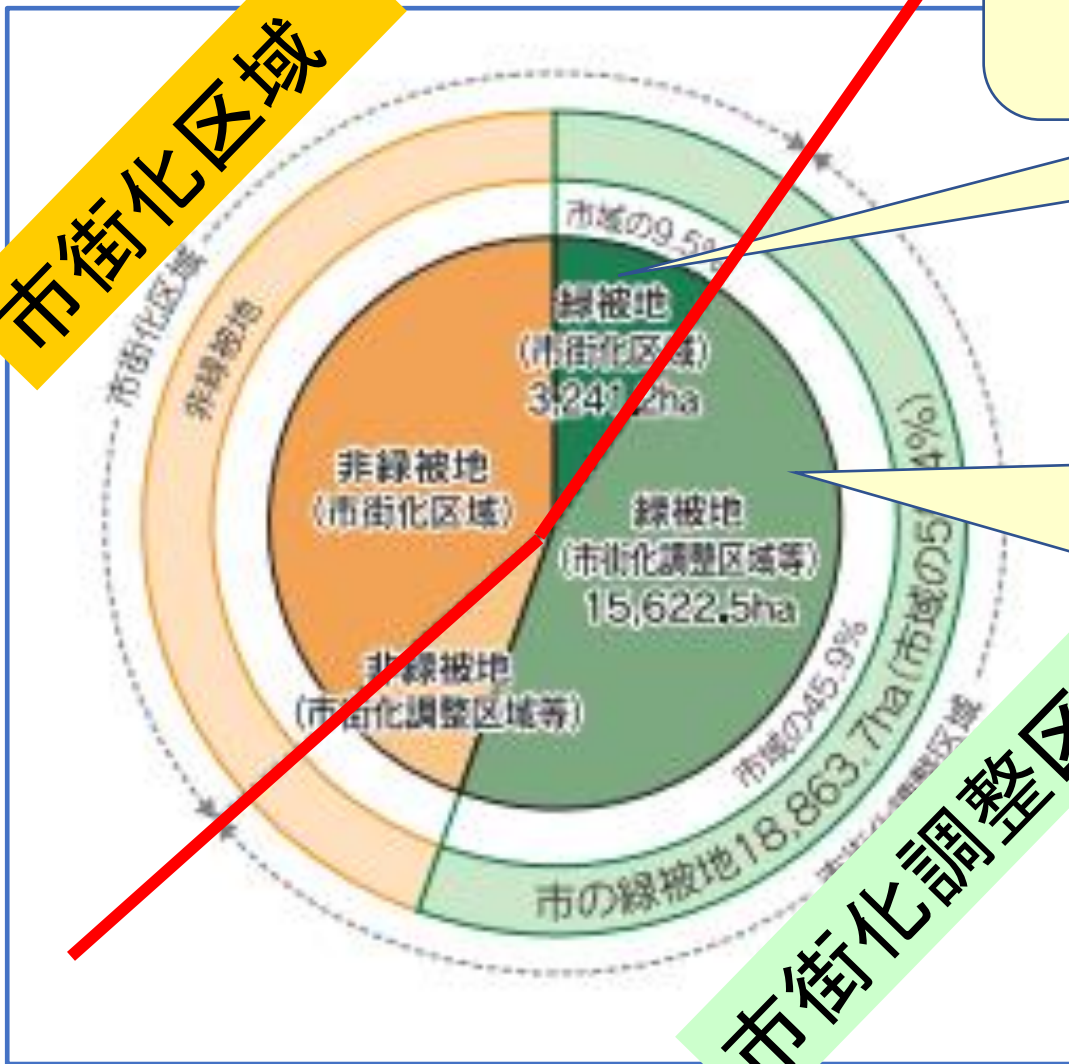
# 緑被地

市街化区域の20.7%

# 緑被地

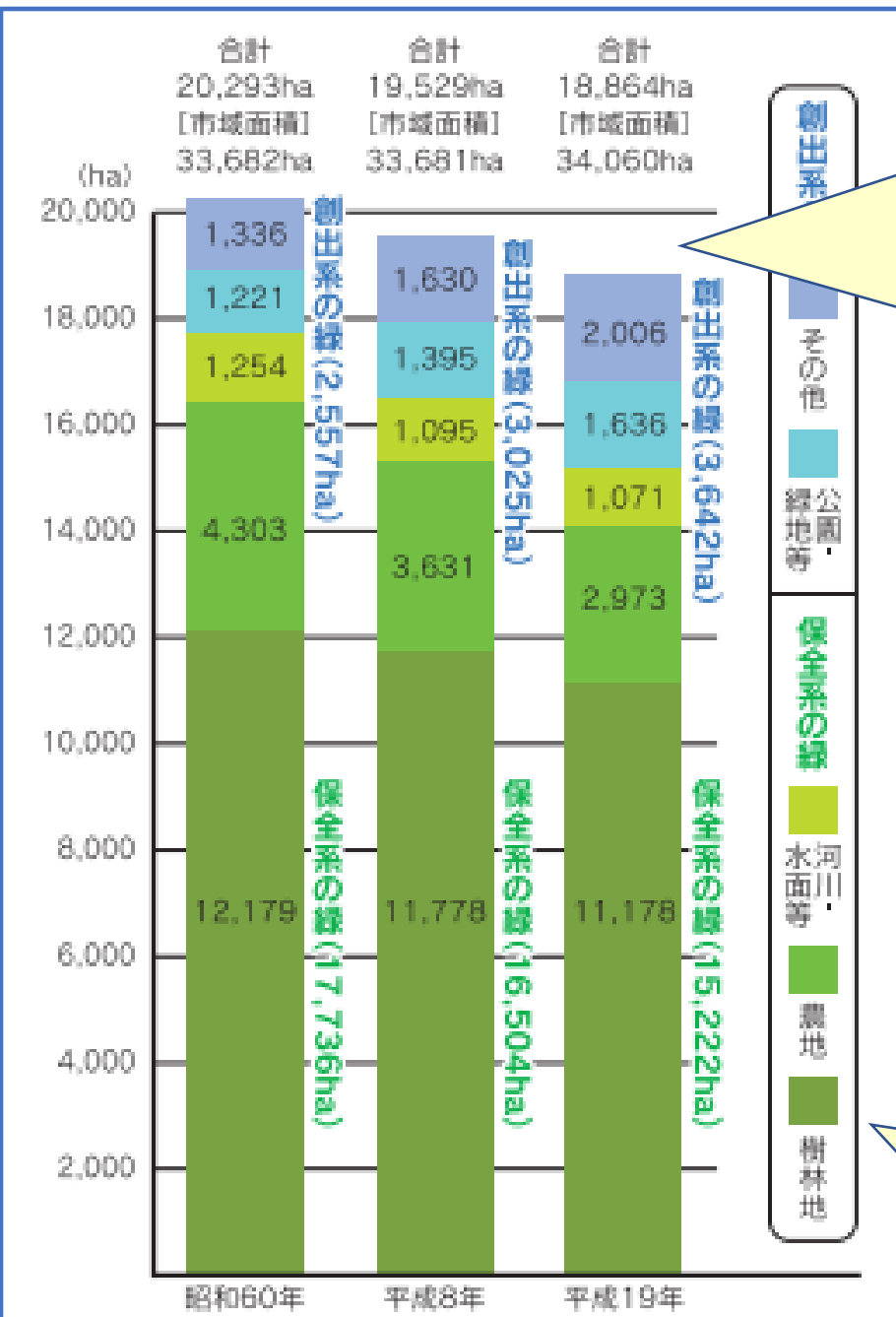
全市域の55.4%

市街化区域



市街化調整区域

緑の基本計画  
現況の把握



11年間で  
665haの  
緑が減少  
(大濠公園16.6個分)

保全系は1,282ha減  
(河川・水面、農地、樹林地)  
創出系は617ha増  
(公園・緑地等)

# 緑の目標値

# 「緑の基本計画」

| テーマ          | 説明                           | 現況                             | 目標                             |
|--------------|------------------------------|--------------------------------|--------------------------------|
| 市域の緑の総量を維持   | 全市域における緑の面積                  | 18,864ha                       | 18,864ha                       |
| 緑で地球温暖化防止に貢献 | 緑によるCO <sub>2</sub> 吸収量      | 約79,740                        | 約87,380                        |
|              | 屋上緑化によるCO <sub>2</sub> 排出削減量 | 約20～100 ton-CO <sub>2</sub> /年 | 約80～380 ton-CO <sub>2</sub> /年 |
| 身近な緑への満足度向上  | 身近な地域における緑が豊かと感じる市民の割合       | 24.1%                          | 55%                            |